

8月27日 『R.I.P』



朝は唐辛子の選別を手伝い、朝ごはんを食べた。みんな 7 時ぐらいからすでに起きて作業しており、毎日 10 時ごろに起きる「夏休みライフ」とは縁遠いなと思った。朝ごはんのあと、バンジャムルンのコミュニティセンターに歩いて行った。歩いていく途中で犬が気になったが、大丈夫だった。「狂犬病の予防注射しててよかった～」とは言いたくない。コミュニティセンターは観光客でにぎわっていた。バンジャムルンでとれたであろう果物や野菜、フルーツのチップス、ピータンなどが売られ、盛況だった。村の人とも語らい、言葉リピートでかなり盛り上がった。日本で外人が日本語を話すと面白いのと同様、タイで日本人が出来合いのタイ語を話すと面白いのだろう。その後、ゴム農園の見学に行った。ゴム農園では深夜 1 時ごろからゴムの木に切れ目を入れるらしい。バンジャムルンには広大なゴム畑が広がっていた。このゴムの木の一つ一つに切れ目を入れるとなるとかなりハードな仕事だろう。次に来た時にお手伝いさせてもらいたい。その後、ブンさんにラヨーンのバス停まで送ってもらい、バンジャムルンを後にした。



バンコクに着いて、日本食が食べたいということで日本食の食堂に行った。日本人街にはマッサージ屋さんが多く、日本語で書かれている看板も有った。日本から来る人は温泉同様、マッサージなどのリラクゼーションが好きらしい。久しぶりの日本食であったが、ぼくはまだまだ日本が恋しくないので感傷に浸ることはなかった。もし感傷に浸りたくなったら同じ店に行こうと思う。その後、タクシーでタマサート大学へ向かった。

タイの高速道路は入る際にもいくらか払って、出る際にもいくらか払うシステムで、日本の高速道路のシステムとは違っていた。タマサート大学に着くとチャイワン先生の研究室に行き、自己紹介をしてきた。その後、チャイワン先生と先生の研究室の生徒とレストランに行き、タイスキを食べた。食事中、プラーさんという院生の方に「おばさんと似ている」と言いたかったのだが”**you look like my uncle**”と言ってしまい、また、**uncle**でなく **aunt** だと言ったら、「老けて見える」と受け取られてしまい、慌てて訂正して言葉を付け足した。教訓：人の容姿は形容しないでおこう。また、タイの道路沿いや家の庭にある塔のモニュメントみたいなものについて質問すると、シアニーさん（先生？）がいろいろと教えてくれた。一つは自分の祖先のため、一つは全ての先人のため、一つは交通事故で亡くなった霊のための「お家」だという。タイ人は自身のことを「ブuddhist」と言うにもかかわらず、祖先崇拜をしている。これは日本の仏壇と同じで、「仏教」と「祖先崇拜」の習合なのだろう。タイの宗教観によりいっそうの興味が湧いた。お墓とお供え物の関係などについても知りたい。その後、大学の近くのホテルに行き、風呂に入り、深夜までプレゼンづくりに追われた。こうしてタマサート一日目が終わった。

